

動的な環境設定管理





www.faronics.com

このページは空白です。

テクニカル サポート

当社では、使いやすく、問題のないソフトウェアを設計するためにあらゆる努力を重ねています。 万が一、問題が発生した場合は、テクニカルサポートまでご連絡ください。

テクニカル サポート: www.faronics.com/support

Web: www.faronics.com

Faronics について

Faronics は、複雑な IT 環境の管理を容易にし、セキュリティを確保する、業界をリードする ソリューションをお届けしています。Faronics の製品は、システムの可用性を 100 パーセント 確保することで、多くの情報技術専門家やコンピュータ室管理者の日常業務を劇的に改善 しました。学校施設をはじめ、医療機関、図書館、政府組織、または法人企業で Faronics の 顧客中心の取り組みによるパワフルなテクノロジー改革を有効に御使用頂いてます。

最終更新日:2018 年 10 月

© 1999 - 2018 Faronics Corporation. All rights reserved. Faronics、Deep Freeze、Faronics Core Console、Faronics Anti-Executable、Faronics Device Filter、Faronics Power Save、Faronics Insight、Faronics System Profiler、WINSelect は Faronics Corporation の商標および/または登録商標です。その他すべての会社名および製品名はそれぞれの所有者の商標です。 このページは空白です。

WINSELECT[®]

目次

お問い合わせ	3
テクニカル サポート	3
Faronics について	3
WINSelect プログラムの概要	7
WINSelect の版について	7
Standard	7
Enterprise	7
	7
ソフトウェア	7
サポートされているプログラム	7
WINSelect のインストール	8
WINSelect のライセンス	8
WINSelect のアンインストール	9
インストール後の WINSelect の記動	10
WINSelect のレイアウト	10
管理コンソール	11
自星コンシール	
コントロール パネル	
デスクトップと Windows タスクバー	13
ドライブとファイル拡張子	14
スタート メニュー	15
ネットワーク制限	16
アプリケーション	17
Microsoft Office	18
メニュー	19
インターネット ブラウザ	20
ホットキー	22
	23
(史用計話ホリン)	24
アトミーストレーダ	
ハスシート	25
休ල ADM テンプレート	25
ADM アンフレート コーザー セッション	20
WINSelect テンプレート	
WINSelect キオスクモードの使用	
WINSelect キオスクパネル	30
WINSelect ウィザード モードの使用	31
付録 A: ユーザー シナリオ	35
User 1 - ライブラリシステム管理者	
User 2 — 企業 IT 管理者	35

このページは空白です。

WINSelect プログラムの概要

共用およびキオスク コンピュータ上でのユーザー アクティビティの制御は、常に IT 担当者を悩ませる問題です。 IT 管理者は、ワークステーションの使用方法を制御するために、特定のアプリケーション、Web サイト、および メニュー オプションへのユーザー アクセスを簡単に管理できるソリューションを必要とします。Faronics WINSelect は、管理者がワークステーションの能力を完全に制御できるようにすることによって、コンピュータの使用目的 を保護します。Windows オペレーティング システムの機能、スタートメニューの機能、Internet Explorer の機能、 および Windows Explorer のオプションはすべて、組織のニーズに適合するように大幅にカスタマイズできます。

WINSelect の版について

Standard

• WINSelect Standard Editionは、スタンドアローン ワークステーション上で動作します。

Enterprise

• WINSelect Enterprise Editionは、ネットワーク上で、集中管理されたインストール、配備、管理、および 複数のワークステーションの制御を提供します。

プログラムの要件

ソフトウェア

Windows XP Professional SP3 (32 ビットか 64 ビット)、Windows 7 (32 ビットか 64 ビット)、Windows 8.1 (32 ビットか 64 ビット)、Windows 10バージョン 1803 (32 ビットか 64 ビット)

サポートされているプログラム

- Microsoft Office XP、2003、2007、2010、2013
- · Internet Explorer 10以上
- ・ Mozilla Firefox (バージョン 62.0 まで)

WINSelect のインストール



WINSelect をインストールする前に、Windows XPおよび Windows 7 の高速ユーザー切り替えオプションを 無効にする必要があります。詳細については、http://support.microsoft.com/kb/279765 を参照してください。

新規ユーザー プロファイルを作成している間は WINSelect を無効にする必要があります。WINSelect による保護の一環として、レジストリ編集ツールおよびコマンド プロンプトが無効にされます。 管理者はこれらのツールを使用する時に WINSelect を無効にする必要があります。

WINSelect のインストール時にリムーバブル ドライブが接続されている場合、そのドライブにドライブ 文字が割り当てられます。不必要な WINSelect 設定の適用を避けるため、インストール時には リムーバブルドライブを切断しておくことを推奨します。

ワークステーションに対して Windows グループ ポリシーが設定されており、WINSelect が同じポリシー を設定する場合、WINSelect の設定が優先します。WINSelect の設定とグループ ポリシーの設定が 重複しない場合、グループ ポリシーはそのまま適用されます。

WINSelect をインストールするには、以下のステップを実行します。

1. CD-ROM ドライブに メディア パッケージのCD-ROM を挿入します。WINSelect をインターネットから ダウンロードした場合、WINSelect_Standard_Installer32.exe という名前のアプリケーションファイルをダブルクリ ックします:

インストールウィザードが表示されます。

- 2. エンドユーザー ライセンス契約が表示されます。[同意]をクリックします。
- 3. 次の画面で *ライセンス* キー が要求されます。評価版を使用する場合は、このフィールドをブランク にし、[次へ]をクリックします。
- 4. アプリケーションは、デフォルトでは C:\Program Files\Faronics\WINSelect にインストールされます。

別のインストール場所を選択するには [参照] をクリックします。プログラム ファイル以外の場所に インストールする場合は、その場所を忘れないようにしてください。

5. *[次へ]*をクリックします。

WINSelect管理者パスワードを指定します。[次へ]をクリックします。

- 6. [インストール]をクリックします。インストールが完了したら、[完了]をクリックします。
- 7. ダイアログが表示され、設定変更を有効にするためにはシステムを再起動する必要があることを知らせます。再起動する場合は [はい] をクリックし、後で再起動する場合は [いいえ] をクリックします。



パスワードは Faronics から取得できません。パスワードは必ず書き留めて大事に保管して下さい。

WINSelect のライセンス

ライセンスキーがない場合、WINSelectの評価版を使用します。評価版は、30日間有効です。WINSelectのフルバージョンにアップグレードするには、バージョン情報ノードに設けられているスペースに有効なライセンスキーを入力します。

30日を経過するまでにキーが入力されなかった場合、WINSelectは無効にされます。

WINSelect のアンインストール



WINSelectのアンインストールを実行するために、管理者 ノードをクリックし、[有効化] ボックス がオフになっていることを確認します。

- 1. WINSelect インストーラ WINSelect_Standard_Installer32.exe を起動します。アンインストールウィザードが表示され、アンインストールの確認を要求します。
- 2. ワークステーションを再起動してアンインストールを完了します。



アンインストールを完了するために、管理者は少なくとも 1回 Windows からログアウトし、 再ログインする必要があります。

インストール後の WINSelect の起動

WINSelectを起動するには、次の2つのオプションのどちらかを使用します。

- ホットキー [Ctrl] + [Alt] + [Shift] + [F8] を使用する
- [Shift] + WINSelect のシステムトレイアイコンをダブルクリックする

WINSelect ログイン ウィンドウが表示されます。

🚭 WINSelect ログイン		×
WINSelect パスワード:		
☑ ウィザード モード	キャンセル OK	

WINSelect のインストール時に設定した管理者パスワードを入力します。ログイン ウィンドウから 2 つのオプションが利用できます。

- WINSelect 管理コンソールにアクセスするには、[OK] をクリックしてログインします。管理者は、 [コントロールパネル]上で、ワークステーションの能力と操作上の機能を詳細にカスタマイズできます。
- ウィザード モードにアクセスするには [ウィザード モード] チェックボックスを選択して、[OK] を クリックします。ウィザード モードは、キオスクをすばやく作成するために使用します。このモードでは、 いくつかの設定オプションを選択できます。

ログイン ウィンドウが初めて表示されるとき、ウィザード モードにアクセスするオプションが有効になっています。管理コンソールにアクセスするオプションは、ウィザードモードの手順の完了後に表示されます。

システムトレイ内のWINSelectアイコンは、WINSelectが有効

の
であるかどうかを表示します。WINSelectが使用

止であるときは、アイコンに赤い X が付きます:

WINSelect のレイアウト

WINSelect は、管理コンソールの左ペインに表示される一連のノードから成っています。ノードをクリックすると、 管理コンソールの右ペインにオプションのセットが表示されます。2つ以上のサブノードを含むノードを展開す るには、管理コンソールで左ペインのノード名の隣にあるアイコンをクリックします。

管理コンソール

l管理コンソールにアクセスするには、Windows システムトレイにある WINSelect アイコン [●] をダブルクリック するか、ホットキー [*Ctrl*] + [*Alt*] + [*Shift*] + [*F8*] を使用します。有効なパスワードを入力し、[ウィザード モード] チェックボックスが選択されていることを確認します。管理コンソールにアクセスする前にウィザード モード を使用した場合は、ウィザードで行った設定の選択がすべて継承されます。

管理コンソールのバージョン情報ノードが次のように表示されます。

Faronics WINSelect Standard		? ×
パーション/換報 ーキオスク ・システム ・コントロールパネル ・デスクトップと Windows タスク/ ・ドライブとファイル拡張子 ・スタートメニュー ・ネットキー ・ボットキー ・アブリケーション ・「Microsoft Office ・メニュー ・インターネットブラウザ ・ブンター ・使用許話ポパシー ・アドミニストレータ ・ADM テンプレート ・コーザーセッション WINSelect デンプレート	パージョン情報 製品: Faronics WINSelect Standard パージョン: 7.20.2120.603 評価版 認証:: 30 多り有効) 最新パージョンがインストールされています。利用可能なアップテートはありません。 プロダクトキー ウィザードモード	

管理コンソールは、管理者が Windows の環境および機能をカスタマイズするために使用する一般的な機能の グループを集めた一連のノードから成っています。

キオスク ノードでは、管理者は一部の Windows 機能だけを使用するワークステーションを作成でき、WINSelect の基本的な機能をごく簡単なステップで有効にできます。

システム ノードにはコンピュータを保護し、主要な Windows 設定への無許可のアクセスを禁止する一連のオプ ションが含まれています。ここで、管理者はシステム規模の Windows コンポーネントへの変更を禁止すること ができます。

アプリケ ーション ノードによって管理者は、WINSelect ワークステーションにあるソフトウェアをカスタマイズ できます。アプリケーション ノードを使用して、Microsoft Office や種々のインターネットブラウザなどの アプリケーションへのアクセスを許可および制限することができます。

プリンタノードを使用して、管理者は、ローカルおよびネットワークプリンタを無効にすることができます。

*使用許諾ポリシー*ノードを使用して、管理者は、使用許諾ポリシーを設定し、ワークステーション ユーザー にそれを表示することができます。

アドミニストレータ ノードを使用して、ユーザーは、WINSelect を有効化および無効化し、ユーザー セッション の作成やパスワードの追加または変更などのWINSelect の設定をカスタマイズすることができます。WINSelect のテンプレートを作成することもできます。

ワークステーションを設定するには、いずれかのノードをクリックします。

システム

システムノードを使用して、システム規模のオプションを設定できます。

 Faronics WINSelect Standard バージョン情報 キオスク システム コントロールパネル 	ータスクマネージャー 「」 (タスクマネージャ] (Cut+Alt+Del) を無効にする	<u>? ×</u>
 テスクトップとWindows タスク) ドライブとファイル拡張子 スタートメニュー ネットワーク制限 ホットキー アブリケーション Microsoft Office メニュー インターネット ブラウザ ブリンタ 使用非諸ポリシー アドミニストレータ ADM デンプレート ユーザー セッション WINSelect デンプレート 	Windows エクスプローラ 「 右クリックを無効にする 「 UNC パスを無効にする 「 フォルダ操作を無効にする 「 ドラッグ& ドロップを無効にする 「 ドラッグ& ドロップを無効にする △ルブ <u>QK</u> 生ャンセル 適別	Ħ

タスク マネージャを無効にするには、[タスク マネージャを無効にする] を選択します。これは、ユーザーが タスクマネージャにアクセスすることをブロックし、現在のタスクが実行されることを保証します。許可 されていないユーザーが、プロセスを終了させることができないことを保障します。

ユーザーが Windows Explorer で 表示、貼り付け、コピー、プロパティ などのコマンドにアクセスできないよう にするには、[右クリックを無効にする]を選択します。

ユーザーが共有ネットワーク リソースへアクセスすることを拒否するには、[UNC (Uniform/Universal Naming Convention) を無効にする]を選択します。

フォルダの名前の変更、移動、または削除を禁止するには、[フォルダ操作を無効にする] を選択します。これは、 ユーザーが Windows Explorer を通じてフォルダの名前を変更したり、フォルダの場所を変更したりすることを 禁止します。

ユーザーが別の場所にファイルおよびフォルダを移動するのを禁止するには、[ドラッグ&ドロップを無効にする] を選択します。また、このオプションは、すべてのアプリケーションにマウスポインタをドラッグすることで、 テキスト、イメージを選択することを禁止します。



キオスク モードが有効になっているときは、[タスク マネージャおよび UNC パスを無効にする] オプションは自動的に有効にされます。

コントロール パネル

コントロール パネル ノードは、Windows コントロール パネル アプレットの表示を制限するオプションです。Windowsコントロール パネルにはアクセスできますが、一部のアイコンが非表示にされることがあります。

その場合でも一部のコントロール設定は、コマンド ラインまたは [実行] ダイアログからアクセスおよび変更 することができます。

コントロール パネルのすべてのアイコンへのアクセスを許可するには [アプレットを表示する] を選択します。 それによってワークステーションのコントロール パネルにあるすべてのアプレットが表示されます。すべての コントロール パネル アプレットへのアクセスを禁止するには、[すべてのアプレットを非表示にする] を選択 します。[アプレットを表示する] および [すべてのアプレットを非表示にする] では、特定のアプレットへの アクセスを許可または制限することはできません。

特定のアプレットを指定するには、[*選択したアプレットを非表示にする*] をクリックし、制限するアプレットの 隣のボックスを選択します。アプレットの隣のチェックボックスがクリアされている場合、表示され、アクセス 可能なアプレットであることを意味します。

アプレットをリストに追加するには、[アプレットを指定]フィールドにアプレット名を入力し、[追加]をクリックします。

アプレットを削除するには、リストの中のそのアプレットをハイライト表示し、[削除] をクリックします。 削除 されたアプレットはまだコントロールパネルに表示されます。このアプレットは、WINSelectのコントロールパネルアプ レットのリストから削除されただけです。

デスクトップと Windows タスクバー

デスクトップおよび Windows タスクバー ノードから、ワークステーション デスクトップおよび Windows タスクバーの使用を制限するためのオプションを利用できます。

バー・ジョンパ書奉服	75-1-1	
-++7,20	∧メニト メニュー ● [スタート]メニューを有効(ごする)	
シシステム		
ーデスクトップと Windows タスクバ		
…ドライブとファイル拡張子	○ 選択した [スタート] メニュー項目を無効にする	
	Cortana	^
- ホットケーク和PA	□ Windowsストア	
- アプリケーション		
Microsoft Office	□□ントロール パネル、プリンタ、ネットワーク接続/Win 7:コントロール パネル、デバイ	· 사이
ー フーユー ー インターネット ブラウザ	Windows 8 / Windows 10	-
ー プリンタ	「タスクビューを非表示にする	
一使用許諾ポリシー	□ アプリケーションのアンインストールを無効にする	
■ アトミニストレーダ - ADM テンプレート	□ アプリケーションのタスクバーへの固定を無効にする	
ー ユーザー セッション 	□タイルの右クリックとスタート画面のカスタマイズを無効にする	

[スタート]メニューを有効にする-[スタート]メニューへのアクセスを許可するには、このオプションを選択します。

[スタート]メニューのすべての項目を無効にする - [スタート]メニューを完全に無効にするには、このオプションを選 択します。[スタート]メニューの中から選択した項目を無効にする - [スタート]メニューの中から選択した項目を無効 にするには、このオプションを選択します。無効にする特定の項目またはオペレーティングシステムのバージョンの チェックボックスを選択します。[スタート]メニューでの右クリックを無効にする - [スタート]メニューでの右クリックを 無効にし、ユーザーがサブメニューにアクセスできないようにするには、このオプションを選択します。このオプション はWindows 8.1では使用できません。クラシックスタイルの[スタート]メニューを有効にする - クラシックスタイルの[スタート]メニューを有効にするには、このオプションを選択します。このオプションはWindows 7以降で使用できます。

Windows 8.1/Windows 10 バージョン 1803 管理しているコンピュータにWindows 8.1がインストールされている場合、次のオプションを選択 できます。 再起動して常にデスクトップを開く(Windows 8.1のみ) - コンピュータを再起動して常にデスクト ップモードにする場合、このオプションを選択します。このオプションを選択しないと、Windows 8.1を実行しているコンピュータは、再起動後にデフォルトでスタート画面になります。 タスクビューを非表示にする(Windows 10 バージョン 1803のみ) - Windows 10 バージョン 1803 でタスクビューを無効にするには、このチェックボックスを選択します。タスクビューにより、コン ピュータで現在実行中のプログラムを切り替えることができます。

アプリケーションのアンインストールを無効にする - ユーザーによるWindows 8.1アプリケーショ ンのアンインストールが行えないようにするには、このオプションを選択します。アプリケーショ ンのタスクバーへの固定を無効にする - ユーザーによるWindows 8.1アプリケーションのタスク バーへの固定ができないようにするには、このオプションを選択します。タイルの右クリックとス タート画面のカスタマイズを無効にする - ユーザーによるスタート画面のタイトルの右クリックお よびスタート画面のカスタマイズができないようにするには、このオプションを選択します。

ドライブとファイル拡張子

ドライブおよびファイル拡張子ノードから、ワークステーションにインストールされている各アプリケーション に対して、ドライブと指定されたファイル拡張子へのアクセスを制限するオプションを利用できます。



利用可能なドライブおよびファイル拡張子の隣のボックスにチェックを入れることによって、それらのドライブ とファイル拡張子を無効にできます。必要に応じて、[すべて選択] または [選択をすべて解除] オプションを使用 します。

この機能が有効にされた後は、ファイルおよびディレクトリ構造は表示されません。例えば、すべてのドライブが 選択された場合、そのドライブに含まれるディレクトリの検索は許可されません。

ドライブを選択せずにファイル拡張子を選択した場合、そのファイル拡張子がすべてのドライブで無効にされます。

システム ドライブが無効にされた場合でも、ユーザーのディレクトリへのアクセスは、デフォルトでは無効 にされません。アクセスを禁止するには、[ユーザー ディレクトリへのアクセスを無効にする] を選択します。 例えば、C がシステム ドライブとしてリストされている場合、C の隣のボックスにチェックを入れると [ユーザー ディレクトリへのアクセスを無効にする] が選択可能になります。管理者はここで、このボックスを選択するこ とによってユーザーによるディレクトリ C:\Documents and Settings\User フォルダへのアクセスを制限することが できます。ユーザーは、デスクトップ だけにアクセスできます。このオプションは、システム ドライブ文字が 選択されている場合にだけ利用可能です。 ユーザーが自分のディレクトリ内にファイルを保存および作成する のを許可する場合は、このチェックボックスをクリアします。

リムーバブル ドライブへのアクセスを禁止するには、リムーバブル ドライブの表示されるチェックボックスを 選択します。この機能を選択すると、ユーザーは、ユーザー セッション中に接続されているリムーバブル ドラ イブを見ることができなくなります。

ファイル拡張子を使用できないようにするには、その拡張子を選択します。リストに他のファイル拡張子を追加 するには、表示されたフィールドにその拡張子を入力し、[拡張子の追加]をクリックします。

この機能を有効にすると、指定された拡張子が付いているファイルをアクセスまたは作成できなくなります。



WINSelect のインストールおよび設定時にリムーバブル ドライブが接続されている場合は、その ドライブにはドライブ文字が割り当てられます。不注意でリムーバブル ドライブに WINSelect 設定が適用されるのを避けるために、インストールおよび設定時にはリムーバブル ドライブ を切断しておくことを推奨します。

スタートメニュー

スタート メニュー ノードから、ワークステーションのスタート メニューへのアクセスを制限するためのオプション を利用できます。1つまたは複数のオプションを選択することによって [スタート] メニューへのアクセスを カスタマイズします。

 ● Faronics WINSelect Standard パージョン情報 キオスク システム コントロールパネル デスクトップとWindows タスク) ドライブとフィノは広長子 スタートメニュー ネットワーク和原風 ホットキー アグリケーション Microsoft Office メニュー インターネット ブラウザ ブリンタ 使用非毛花パシー アドミニストレータ ADM デンプレート コーザー セッション WINSelect デンプレート 	ネットワーク制限 「「酒効化」 URLを指定する 「 「アドレス (また(範囲)を指定: 「・・・・・・」 追加 「 選択したものを許可 「 選択したものを許可しない 「 」 「 」 「 」 」 「 」 「 」 『」 『」 『」 『」 『」 『」 『」 『」 『」 『」 『」 『』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』 』	? ×
ー ADM デンプレート ー ユーザー セッション ── WINSelect デンプレート	削除 小ルブ QK 生ャンセル 適用	

[スタート ボタンを有効にする] が選択されている場合、ユーザーはワークステーションの スタート ボタン へのアクセスを許可されます。[すべてのスタート メニュー項目を無効にする] が選択されている場合、ユーザー は スタート メニューへのアクセスを拒否されます。

選択した スタート メニュー項目を無効にするには、リストからその項目を選択します。選択したオプションは、 次にスタートメニューを開いたとき利用できなくなります。

[スタート メニュー項目の右クリックを無効にする] オプションを選択すると、ユーザーは二次メニューにアクセス できなくなります。

[クラシック スタイルの スタート メニューを有効にする] を選択すると、Windows 2000のスタートメニューの外観と機能制限付きの動作をするクラシックスタイルのスタートメニューが有効になります。

キオスク モードが有効になっているとき、各 スタート メニュー オプションは自動的に無効 にされます。

ネットワーク制限

ネットワーク制限 ノードから、ネットワーク制限オプションを利用できます。管理者は、これらのオプション によって、特定の Web サイトへのアクセスを制限できます。 ワークステーションにネットワーク制限を適用するには、[有効にする]を選択します。

特定のドメイン名を制限するには、それを [URL を指定する] に入力し、[追加] をクリックします。名前がリスト ボックスに表示されます。

IPアドレスまたは IPアドレスの範囲を制限するには、表示されたフィールドにアドレスを入力し、[追加] をクリックします。アドレス がリストボックスに表示されます。

アドレスの範囲を指定した場合、その範囲内の各アドレスが、選択したラジオ されます(*|選択したものを許可*]または *|選択したものを許可しない*))。 ボタンに応じて、制限または許可

リスト ボックスの動作を指定するには、[選択したものを許可] または [選択したものを許可しない] ラジオボタン を選択します。どのエントリが選択されているかを基に、選択した範囲またはドメイン名が制限または許可 されます。[選択したものを許可] が選択されている場合、選択されている場合、選択されているエントリが許可されます。[選択したも のを許可しない]がチェックされている場合、リストの中の、横にチェックが付いているエントリは許可されません。

リストボックスから項目を削除するには、その項目を選択し、[削除]をクリックします。

 	ネットワーク車限	? ×
	<u> ユルブ ロK 生ャンセル 適用</u>	₹

アプリケーション

アプリケーションノードによって、アプリケーションをさらに詳細にカスタマイズできます。

このオプションは、キオスク	モードが有効になっているときは使用できません。管理者が特定の利用可能な
77 😽 Faronics WINSelect Standard	1000000000000000000000000000000000000
この バージョン情報 キオスク ラシステム ー コントロールパネル ー デスクトップとWindows タスク/ ー ドライブとファイル拡張子 ー スタートメニュー ー ネットワーク制服 ー ホットキー 〇 7707~937 一 Microsoft Office ー メニュー ー インターネット ブラウザ ー ブリンタ ー 使用語料話ポリシー 〇 アドミニストレータ ー AD デンブレート ー ユーザーセッション ー WINSelect デンブレート	アガリケーション

Program Files フォルダ内にある利用可能なすべての .exe ファイルをリストに含めるには、[すべてのプログラム を表示] を選択します。すべてのプログラムを選択 または 選択を解除する場合、[すべてを選択] または [選択 をすべて解除] をクリックします。リストからプログラムを追加/削除する場合、[追加] または [削除] をクリック します。

個別のアプリケーションを追加するには、[追加] ボタンをクリックします。希望するアプリケーションの .exe ファイルを参照して、[開く]をクリックします。

特定のアプリケーションの実行のみを許可するか、特定のアプリケーションの実行を禁止します。各アプリケー ションに、リストの動作を指定するための対応するチェックボックスが表示されていなければなりません。許可 されたアプリケーションが別のアプリケーションを開く場合、その 2番目のアプリケーションもリストする必要 があります。

禁止されるアプリケーションは、その場所ではなく名前によって認識されます。アプリケーションが禁止されている アプリケーションとして指定されている場合、それを別のフォルダに移動した場合でも、WINSelect はそれを開 くことを禁止します。



アプリケーションを削除するためには、リストからアプリケーションを選択し、(削除)ボタンをクリックします。

Microsoft Office

Microsoft Office ノードから、Microsoft Office メニュー項目へのアクセスを制限するためのオプションを利用できます。 Microsoft Office の管理機能がリストされ、管理者はユーザーがこれらの設定を許可なく操作するのを禁止できます。



ワークステーション上で Microsoft Office アプリケーションのメニュー項目を制限するために、リストからメニュー 項目を選択します。リストからメニュー項目を選択して、[適用]をクリックします。

次のMicrosoft Office プログラムは、その隣のチェックボックスを選択することで、使用禁止にすることができます:

マクロの無効化 は、マクロとショートカットキーの表示を禁止します。

Disable VB Editorの無効化、マクロとVisual Basic Editorとショートカットキーの表示を禁止します。

テンプレートとアドインの無効化、Microsoft Officeの テンプレートとアドインを使用禁止にします。

Visual Basic アプリケーションの実行を無効化する。、Visual Basic プログラムの実行を停止します。

Webの無効化、Microsoft OfficeのWebツールバーを使用禁止にします。

アプリケーションの自動修復の無効化、ヘルプメニューの検出と修復オプションを使用禁止にします。

メニュー

メニュー ノードから、選択されたアプリケーション内の特定のメニュー項目に対するアクセスを制限するためのオプションを利用できます。

Saronics WINSelect Standard		<u>? ×</u>
バージョン情報報 キオスク システム ・ ゴントロールパネル ・ デスクトップと Windows タスク/ ・ ドライブとファイル拡張子 ・ スタートメニュー ・ ネットワーク制限 ・ ホットキー アブリケーション ・ Microsoft Office ・ メニュー ・ インターネット ブラウザ ・ ブリンタ ・ 使用非耗素ポリシー アドミニストレータ ・ ADM デンプレート ・ ユーザー セッション ・ WINSelect デンプレート	メニュー設定 アブリケーションを選択 無効にするメニュー項目を アブリケーションを選択 三 正録… 前原案	選択
,		



WINSelectは、Microsoftメニューに追加された製品のメニューのみを記録します。異なった メニュー構造をもつ製品のメニューは、適切に記録されません。

制限するメニューを記録するには、次の手順に従います。

1. [記録] をクリックし、実行ファイル (.exe) を参照することによって特定のアプリケーションを選択します。 下の例ではメモ帳アプリケーションが選択されています。

ファイルを開く					? ×
ファイルの場所①:	C WINDOWS		- 🕓 💋	😕 📰	
していたしていた。 最近使ったファイル	addins AppPatch Config	i magent i msapps i mui i mui	Casystem Casystem 32 Can Temp	🔧 winhelp 🎖 winhlp32	
デスクトップ 会	Cursors	peernet Prefetch provisioning	Web WinSxS		
₹7 F¥1X2F	EHome Fonts Help	Registration repair Resources security	i≌ hh Israed Israedit IsrandII		
マイ エンピュータ	iava LastGood	ServicePackFiles	TASKMAN		
⊽র্ব র৾୬Ւワ−০	↓ ファイル名(W): [▼ 開K(C	•
	ファイルの種類(工):	実行ファイル (*.exe)		▼ ++>	2.16

- 2. 制限するメニューを一度に 1回開きます。WINSelectメニューレコーダーにより、選択したメニューが記録されます。
- 3. アプリケーションを閉じます。

Faronics WINSelect Standard ボージョン情報	┌ 火□ - 設定	<u>?</u> ×
 キオスク キスク システム コントロールパネル デスクトップとWindows タスク) ドライブとファイル拡張子 スタートメニュー ネットワーク制限 ホッキキー アブリケーション Microsoft Office メニュニー インターネットブラウザ ブリンタ 使用非非諾ポリシー アドミニストレータ ADM デンプレート ユーザ・セッション WINSelectテンプレート 	アブリケーションを選択 notepad.exe 記録 肖明除	無効にするメニュー項目を選択
		QK _ キャンセル _ 適用 _

このとき、WINSelect は選択した .exe ファイルを左側に、管理者が開いたメニュー項目を右側に表示します。 これらのメニュー内のコマンドを制限するには、ツリー構造内で特定のメニュー コマンドをクリックします。

このオプションが有効にされた後、ユーザーはアプリケーション内のコマンドにアクセスできますが、それらの コマンドを使用することはできません。



メニュー コマンドを選択した後、選択されたコマンドのセットを変更することはできません。 メニューリストおよび繰り返された手順で.exeファイルを削除する必要があります。

Microsoft Office のメニュー コマンドは記録できません。

インターネット ブラウザ

インターネット ブラウザ ノードから、インターネット ブラウザ機能およびメニューへのアクセスを制限するための ノードを利用できます。ユーザーがインターネットにアクセスすることを要求され、場所の保存、ページの印刷、 お気に入りメニューへのアクセスなどが許可されていないときにこれらの機能を有効にします。

ا	Faronics WINSelect Standard ?	×
バージョン情報 ・キオスク ・システム ・コントロールパネル ・デスクトップと Windows タスクパ ・デスクトップと Windows タスクパ ・ドライブとファイル拡張子 ・スタートメニュー ・ネットワーク制限 ・ホットキー ・アップリンク ・Microsoft Office ・メニュー ・インター・マットブラウザ ・ブリンタ ・使用許干諾ポリシー ・アドミストレータ ・ADM テンプレート ・ユーザー セジョン ・WINSelect テンプレート	インターネット ブラウザ 「オクリックを禁止する」 □ アドレス パーからファイルやフォルダが開かないようにする □ アドレスパーを削除する(Internet Explorer 9.0比/β&のみ) ホームページ: メニュー ブラウザを選択 三 ブラウザを選択 ■ Internet Explorer Mozilla Firefox □ Internet Explorer Ø [お気(に入り] メニューを無効にする ヘルプ QK 主ャンセル 適用	

[右クリックを禁止にする] チェックボックスを選択することで、右クリック機能を使用禁止にします。これはユーザーが 右クリックのメニューにアクセスすることを禁止し、リンクを保存したり、アドレスをコピーしたりすることを禁止します。

ネットワーク上に保存されているファイルへのアクセスを禁止するには、[アドレス バーからファイルやフォルダ が開かないようにする] を選択します。それによってユーザーは、インターネット上のローカル ドライブまたは ディレクトリにあるドキュメントを開くことを禁止されます。

ワークステーションのブラウザ ホーム ページを指定されたスペースに入力します。これは常にブラウザを開 いたときに表示される Web ページです。これはインターネット ブラウザで指定されているホーム ページを上書 きします。

リストからブラウザを選択し、そのブラウザ内で無効にするメニュー項目をチェックします。[ファイル]、[表示]、 [お気に入り] などのメニューを選択して、ユーザーがそれらのメニューをアクセスできないようにすることが できます。

メニュー全体およびメニュー内の個別のコマンドを無効にできます。メニュー全体を無効にするにはトップ レベルの隣のボックスをチェックします。メニュー内のコマンドを無効にするには、各コマンドの隣のチェッ クボックスを選択します。

「お気に入り」(保存されている頻繁に閲覧する Web サイトのリスト)を無効にするには、[Internet Explorer の お気 に入り メニューを無効にする] を選択します。ユーザーはお気に入りリストを表示したり、新しいお気に入り ページをブックマークしたりすることができなくなります。

ホットキー

ホットキー ノードから、指定したホットキーのシステム レベルでの使用を制限するためのオプションを利用 できます。複数のアプリケーションで機能するキーの組み合わせは、ワークステーション上でどのアプリケーションが 有効にされているかに関係なく、無効にすることができます。

) Faronics WINSelect Standard パージョン情報 ーキオスク	- ホットキー				1
□·システム □·ントロールパネル □·フトロールパネル	無効にするホットキー	を選択	すべて選択	選択をすべて解除	
デスクトップと Windows タスク/ ドライブレフライル trize ス	Alt + A	Alt + G	Alt + M	Alt + R	
フタート メニュー	Alt + B	Alt + H	Alt + N	Alt + S	
- ネットワーク制限	✓Alt + C	Alt + I	Alt + 0	Alt + Shift +	
ホットキー	Alt + D	✓Alt + J	Alt + P	Alt + T	
	Alt + E	Alt + K	Alt + Prnt Scm	Alt + Tab	
Microsoft Office メニュー	□Alt + F	⊟Alt + L	□Alt + Q	⊟Alt + U	
ー・インターネット ブラウザ ー・ ブリンタ	•			Þ	
… 使用許諾ポリシー	ホットキーの指定				
□・アドミニストレータ → ADM テンプレート → ユーザー セッション	なし		リストに追加	削除	
└── WINSelect テンプレート					
	へいプ		<u>K</u>	ンセル 適用	FI.

リストから、ワークステーション上で無効にするホットキーを選択します。すべてのホットキーを選択 選択を解除する場合、[*すべてを選択*]または [*選択をすべて解除*]を使用します。

リストされていないホットキーを追加するには、キーの組み合わせを入力し、[リスト ボタンへの追加] をクリック します。

[削除]オプションは、管理者によって追加されたカスタムキーの組み合わせだけを削除します。

🌍 Fa	aronics WINSelect Standard						? ×
	バージョン情報 キオスク システム コントロール パネル デスクトップト Vindows カフクレ	-本:	ットキー 無効にするホットキー	-を選択		選択をすべて解除	
E	デスクトックと windows メスク/ ドライブとファイル拡張子 スタートメニュー ネットワーク制限 ホットキー 3- アブリケーション Misreeth Office		Alt + A Alt + B ✓Alt + C Alt + C Alt + D Alt + E		Alt + M Alt + N Alt + O Alt + P Alt + Prnt Scm	Alt + R Alt + S Alt + Shift +' Alt + T Alt + T Alt + Tab	
E			□Ait+F ▲ ホットキーの指定 なし	Ait + L		Alt + U ■ 肖邶余	
	- ユーザーセッション - WINSelect テンプレート		17			」 ンセル 」 道用	3

プリンタ

プリンタ ノードから、ワークステーションに接続されている、利用可能なプリンタへのアクセスを制限するための オプションを利用できます。この機能を使用して、プリンタ全体を制限するか、または 選択した 1台または 複数のプリンタ上で指定した部数だけ許可します。

オフラインプリンタへのアクセスを制限できます。これは覚えておくと役に立ちます。なぜなら、オフライン プリンタは まだ印刷ジョブを受け取ることができるからです。

😽 Faronics WINSelect Standard		? ×
パージョン情報 キオスク システム コントロールパネル デスクトップと Windows タスク) ドラインフィイル拡張子 スタートメニュー ネットワーク制限 ボットギー ワ・フリカーション Microsoft Office メニュー インターネット ブラウザ ワンク 使用計1話ポリシー フドミニストレータ ADM テンプレート ユーザー セッション WINSelect テンプレート	ブリンタ ● 印刷制限を有効にする ● すべて無効にする ● 選択した項目のみ無効にする □Snaglt 3 □ 印刷制限 セッションあたりの印刷制限ページ数 (0(は無制限): ① △ルブ QK 主マンセル 通用	

プリンタ アクセスの設定に、利用可能な 3つのオプションのいずれかを選択します。[印刷制限を有効にする] は、 プリンタを使用禁止にするものではありません。それは、ユーザーがワークステーションから印刷することが できるページの数を制限するだけです。印刷制限を指定する場合、所定のボックスにセッションあたりのペー ジ数を入力します。0(ゼロ)は無制限を表します。

[すべて無効にする] は、ワークステーションに追加された各プリンタからの印刷を制限します。選択したプリンタのみ無効にする場合、リスト上の特定のプリンタを選択し、[選択したプリンタのみ無効にする]を選択します。

プリンタの追加および接続の詳細は、Windowsのマニュアルを参照してください。

利用可能なプリンタのリストをリフレッシュするには、[同期] を選択します。これは、最近、WINSelect が有効 であるときにワークステーションに接続されたプリンタがある場合に役に立ちます。

使用許諾ポリシー

使用許諾ポリシー ノードを使用すると、ワークステーションの起動時に [使用許諾ポリシー (AUP)] を表示できます。この機能によって管理者は、ユーザーがワークステーションにログインするたびに使用条件を指定できます。ユーザーは、ワークステーションを使用する前に、このポリシーを承諾する必要があります。

ファイルサイズには制限がなく、拡張子が.rtfのファイルだけをインポートできます。

😽 Faronics WINSelect Standard		? ×
パージョン情報額 キオスク コントロールパネル デスクトップとWindows タスク/ トライブとファイル拡張子 スタートメニュー ネットワーク制限 ホットキー アブリケーション Microsoft Office メニュー インターネット ブラウザ ブリンタ 使用非認識がシー アアドミニストレータ ADM デンプレート コーザー セッション WINSelect デンプレート	使用許諾ポリシー 「フークステーション起動時に AUP を表示]	

この機能を有効にするには、[ワークステーション起動時に AUP を表示] を選択します。この設定を有効にすると、 ユーザーはポリシーを承諾しないとワークステーションにアクセスできなくなります。

[インポート]をクリックし、AUP テキストがある.rtfファイルの場所を検索します。



アドミニストレータ

アドミニストレータ ノードは、管理者によって要求されるパスワードを変更するため、および WINSelect を有効または 無効にするために使用します。

😽 Faronics WINSelect Standard		?
-バージョン情報 -キオスク - キオスク - システム - コントロールパネル - デスクトップと Windows タスク/ - ドライブとファイルが発子 - スタートメニュー - ネットワーク制限 - ホットキー - アップリケーション - Microsoft Office - メニュー - メニュー - シニュー	パスワード 新しいパスワード: 新しいパスワードの確認: 更新	
ブリンタ プリンタ 使用許諾ポリシー P <mark>P除ニストレータ</mark> ADM テンプレート ユーザー セッション WiNSelect テンプレート	「保護 ▼ WINSelectを有効にする ■ アドミニストレータに対して WINSelectを無効にする △ルブ □K Eャンセル	<u>適</u> 用

パスワード

新しいパスワードを設定するには、[新しいパスワード] フィールドに新しいパスワードを入力します。新しいパス ワードを入力し、確認のために再入力します。[更新] をクリックして、新しいパスワードを適用します。WINSelect のインストール後に最初に設定されたパスワードが、新しいパスワードに置き換えられます。管理者パスワード は、1つだけ設定することができます。

保護

WINSelect をワークステーション上で有効にするかどうか、またアドミニストレータに対して WINSelect を無効にする かどうかを選択します。

[アドミニストレータに対して WINSelect を無効にする]を選択した場合、WINSelect で指定した制限は、管理者パスワードを使用してログインするユーザーには適用されません。

ADM テンプレート

Active Directory Management (ADM) テンプレートノードから、.adm テンプレートをインポートおよび設定するオプションを利用できます。WINSelect は管理者にグループ ポリシー設定を編集するためのインタフェースを提供しますから、 管理者は、WINSelect の機能を補完するために独自の.adm テンプレートを作成することができます。

詳細については、Microsoftのアクティブディレクトリ管理に関するサポート記事を参照してください。

Saronics WINSelect Standard		<u>? ×</u>
$ \begin{array}{c c} -R - \Im 2 \sqrt{4} \\ \hline - \frac{1}{2} \sqrt{2} \sqrt{4} \\ \hline - \frac{1}{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \\ \hline - \frac{1}{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} $		インポート_ 設定。
	<u></u>	セル 適用

.adm ファイルを追加するには [インポート] を選択します。.adm テンプレートをインポートすると、C:\WINDOWS\inf に WINSelect.adm ファイルが作成されます。

.adm ファイルを開いた後、[設定]を選択し、グループポリシーエディタを開き、そこで変更を行います。

ADMテンプレートを削除するには、[削除] ボタンをクリックしてください。ADM テンプレートを削除しても、適用されている設定は削除されません。WINSelect コントロール パネルからテンプレートが削除されるだけです。 変更を行うには、[設定]を選択するか、またはWindows レジストリエディタを使用する必要があります。

Select Standard		<u>? ×</u>
- パージョン情報 - キオスク 日・システム - ジステム - ジスクトップと Windows タスク/ - デライジとファイル 拡張子 - スタート メニュー - スタート メニュー - スタート メニュー - スタート メニュー - スタート メニュー - インターネット ブラウザ - ブリンタ - 使用1418ポパシー 日・アブリンタ - 使用1418ポパシー 日・アブレート - ユーザー セッション - WINSelect デンブレート	ADM デンプレート インボート 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	



ユーザー セッション

ユーザー セッション ノードから、時間制限付きのユーザー セッションを作成するためのオプションを利用

できます。これによって管理者は、ユーザーがワークステーションにログオンしていることができる時間の長さを指定できます。

バージョン情報 ・ギオスク ・ジステム ・ ジステム ・ コントロールパネル ・デスクトップと Windows タスク) ・デスクトップと Windows タスク) ・ドラブジンワイル拡張子 ・スタート メニュー ・ホットキー ・アブリケーション ・Microsoft Office ・メニュー ・インターネットブラウザ ・ブリッタ ・使用許諾ポリシー ・アドミニストレータ ・ADM テンプレート ・コーザー セッション ・WINSelect テンプレート	ユーザーセッション ▼ 有効化 ユーザーセッション時間(分単位) 60 ▼ ● 60 ▲ 89EFME	 : 生成するコード数: 1 ▼ ご 警告メッセージの表示 5 分 セッションの有効期間が切れるまでの時間 ご ユーザー セッション終了後にコンピュータを再起動する □ードを生成 全コードのコピー すべてのコードを印刷
		OK / キャンセル / 適用 /

ユーザー セッション 機能を有効にするには、/有効/ が選択されていることを確認し、次の手順を実行します。

- 1. [ユーザ セッション時間(分単位)] ドロップダウンリストから時間を選択します。時間の値の範囲は、5 分から 1440 分です。
- 2. [生成するコード数] ドロップダウンリストから、作成するセッション コードの数を選択します。数値の範囲は 1 から 1000 です。
- 3. 警告を表示するには、[セッションの有効時間が切れるx分前に警告メッセージの表示]チェックボックスを選 択します。x の値を 1 から「最少のユーザ セッション時間から 1 を引いた数」の間で選択します。たとえば、3 つのユーザ セッションを選択し、それぞれを 15 分、30 分、60 分に設定した場合、警告は 1 から 14 の間で なければなりません。
- 4. ユーザ セッション後にコンピュータを再起動するには、[ユーザ セッション終了後にコンピュータを再起動する] チェックボックスを選択します。
- 5. [コードを生成]をクリックします。
- 6. [OK] をクリックします。



ユーザ セッションの設定が適用されるには、WINSelect 保護が有効になってい る必要があります。WINSelect 保護が有効になっていない場合、管理者ノードで [WINSelect 保護] チェックボックスを選択します。

新しい設定を適用するために Windows をログオフすると、次にワークステーションを使用するユーザは、ユーザ セッションを開始する前に、生成されたコードを入力するよう要求されます。

管理者は、[アドミニストレータ] チェックボックスを選択することができます。WINSelect ログイン画面が表示されま す。管理者モードで WINSelect を開始するために、管理者パスワードを入力することができます。ワークステーショ ンユーザとしてログインし、セッションがその割り当てられた時間に達した場合、新しいコードの入力を要求するダイ アログが表示されます。新しいコードを入力するまで、ユーザはワークステーションを使用できなくなります。新しいコ ードを入力しないと、セッションは時間切れになります。コードを使用すると、そのコードはリストから自動的に削除さ れるため、同じワークステーションで再使用できません。管理者としてログインしている場合、ユーザセッションの時 間切れはありません。管理者は、このノードの中で、複数のセッションの長さに対応する複数のコードを作成できます。 すべてのコードを印刷するオプションを利用できます。コードを使用すると、ネットワーク上のすべてのワークステーションから自動的に削除されます。

コードを使ってコンピュータにログオンすると、画面の上部に次のステータスバーが表示されます。

ユーザ セッション ノードで[セッションの有効時間が切れる x 分前に警告メッセージの表示]チェックボックスを選択している場合、セッションの有効時間が切れる x 分前に、警告が表示されます。



[再通知] をクリックして、ドロップダウンリストから分数を選択します。[OK] をクリックします。選択した分数が過ぎると、警告が再表示されます。

警告	
	セッション終了までの時間: 59 分
_	ⓒ 再通知 1 ▼ 分
	○ メッセージを今後表示しない
	ОК

警告を再表示したくない場合、[このメッセージを今後表示しない] をクリックして、[OK] をクリックします。

管理者は、このノードの中で、複数のセッションの長さに対応する複数のコードを作成できます。 次に、これらのコードをユーザに提供すると、ユーザがこのワークステーションにログオンするこ とができます。1 つのコードだけを印刷する必要がある場合、そのコードを右クリックし、[印刷] を選択します。

個別のコードを削除するには、そのコード上で右クリックし、[削除] を選択します。コードのグループを削除するには、リスト内の最初のノードを右クリックし、[削除] を選択します。

作成されたコードをクリップボードにコピーするには、[全コードのコピー]をクリックします。希望のプログラムを起動させて、コードを貼り付けることができます。

デフォルトのプリンターを使って、作成されたコードを印刷するには、[すべてのコードを印刷] を クリックします。

WINSelect テンプレート

WINSelect テンプレート ノードから、すべての構成済み WINSelect 設定を WINSelect テンプレートとしてエクスポート するためのオプションを利用できます。次にこのテンプレートを、WINSelect によって保護されている任意の数のワー クステーションに配備できます。

このテンプレートは専用ファイルフォーマットとして保存され、WINSelect でだけ開くことができます。

😽 Faronics WINSelect Standard		? ×
パージョンは春報 キオスカ マシステム ー コントロールパネル デスクトップと Windows タス? ドライブとファイル拡張子 スタート メニュー ネットキッー マスクート メニュー ・ボットキー ローンパントック加限 ・ボットキー ローンパントック加限 ・ボットキー ローンジョン Microsoft Office ・メニュー インターネットブラウザ フリンタ 使用評記者パリシー ローガーとッション WINSelect デンプレート ローザー セッション	WINSelect デングレート 122ポート アブリケーション フレロールパネル スタートメニュー フリンタ メニュー ユーザー セッション Microsoft Office インターネット ブラウザ キオスク インボート	
	<u>へ</u> ルブ <u>QK</u> <u>きゃンセル</u> 適用	

WINSelectテンプレートを作成するためには、WINSelect 設定を選択します。必要に応じて、[すべて選択] または [選択をすべて解除] オプションを使用します。[エクス ポート]をクリックし、テンプレートの保存場所を指定し、テンプレートに一意な名前を付けて保存します。

ノードのリストで、テンプレートの一部であるすべての

WINSelectテンプレートをインポートするには、[インポート] します。ファイルを選び、[開く]をクリックします。

をクリックし、希望するテンプレートの場所を指定

ファイルを開く				<u>? ×</u>
ファイルの場所①:	C WINDOWS		💽 🕝 🤌 📴	
最近使ったファイル び デスクトップ シ マイドキュメント マイニンピュータ	addims AppPatch Connig Connection Wizard Cursors Debug Driver Cache EHome Fonts Help ime java	LastGood Media Media msagent msagps mui POHEALTH Perfetch Provisioning Registration Prepair Resources	 security ServicePackFiles SoftwareDistribution srchasst system system system22 Temp twain_32 Web WinSxS 	
マイ ネットワーク	ファイル名(N):	kwsd	<u> </u>	開(②)

WINSelect キオスクモードの使用

この設定によって、管理者はキオスク タイプのワークステーション (指定した実行可能ファイルだけを実行 できる) を作成できます。また、この設定によって [スタート] ボタンおよび Windows タスクバーにアクセス できなくなります。 キオスク モードにアクセスするには、管理コンソールの左ペインのキオスク ノードをクリック します。

	キオスクモード		
□- システム	□有効化	追加 肖	『除
- コントロール パネル	✓ タブレットモードを無効にする		
ー・デスクトッフと Windows タスクハ ー・ドライブとファイル拡張子	Kiosk アプリケーションを指定して、自動的に起動するアプ	リケーションを選択します:	
- スタート メニュー			
- ネットワーク制限 - ホットキー			
□ アプリケーション			
Microsoft Office			
インターネット ブラウザ			
- インターネット ブラウザ - ブリンタ - 使用許諾ポリシー			
 インターネット ブラウザ ブリンタ 使用許諾ポリシー アドミニストレータ 	白動的に開始されたマカルケーションをKinek Launche	心路外する	
 インターネットブラウザ ブリンタ 使用許諾ポリシー アドミニストレータ ADM デンプレート - ブザークッション 	自動的に開始されたアプリケーションをKiosk Launche	から除外する	
 インターネットブラウザ フリンタ 使用非結ポリシー アドミニストレータ ADM デンプレート ユーザーセッション WINSelect デンプレート 	自動的に開始されたアプリケーションをKiosk Launche アプリケーション・ウィンドウの現在のサイズと位置をその	から除外する はま保わます。	

キオスクワークステーションを作成するには、WINSelectキオスクパネルの[有効]を選択します。

アプリケーションを追加するには、[追加] をクリックし、ワークステーション上で有効になっているいずれかの 実行可能ファイルを入力します。リストに追加されたアプリケーションは、ワークステーション ユーザーに利 用可能になります。アプリケーションの隣のボックスが選択されている場合、そのアプリケーションは再起動 の後、画面上で最大表示されます。選択されていないアプリケーションも利用可能で、WINSelect キオスク パ ネルからアクセスできます。キオスク パネル に追加されたアプリケーションは、WINSelectで設定が適用され るまで、公開状態のままです。

アプリケーション ウィンドウの [現在のサイズと位置をそのまま保ちます] チェックボックスを使用して、有効 にしたアプリケーションのウィンドウ サイズおよびデスクトップ上の位置を指定します。このオプションが選 択されている場合、アプリケーションが即座に開き、管理者はウィンドウ フレームの端をクリック & ドラッグ することによってサイズおよび位置を設定できます。



デスクトップ ショートカットは、アプリケーションのリストに追加できません。実行可能 ファイルそのものを追加する必要があります。

WINSelect キオスクには 3通りの使い方があります。

- 1つ以上の最大化されたアプリケーション: これらを Windows タスクバーを使って選択できます。
 [追加] ボタンを使って一連のアプリケーションを選択し、追加した各アプリケーションの隣のチェック ボックスを選択してこれらを有効にします。
- アプリケーションを選択 (最大化されない): アプリケーションに WINSelect キオスク パネルからアクセス できます。[追加] ボタンを使って一連のアプリケーションを選択することによって設定し、チェック ボックスをクリアします。ユーザーは、WINSelect キオスク パネルを使ってこれらのアプリケーション 間を切り替えます。
- アプリケーションを選択 (サイズ指定、管理者により配置): 一連のアプリケーションを選択し、[アプ リケーション ウィンドウの現在のサイズと位置をそのまま保ちます] チェックボックスを選択することによって設定します。

キオスクパネルは起動時に、最小化されタスクバーとして表示されます。 キオスクリストから実行可能ファイルを削除するには、そのファイルを選択し、[削除]をクリックします。 キオスクモードが有効にされると、次の設定が自動的に適用され、無効にすることができません。

- タスクマネージャは無効にされます。
- タスクバーまたはスタートメニューの右クリックは無効にされます。
- タスクバーアイコンは非表示にされます (システムトレイ、クロック)
- スタート ボタンは完全に無効にされます
- アプリケーションは無効にされます
- すべての UNC (Universal Naming Convention) が無効にされます
- Internet ExplorerとFirefoxからの印刷が無効にされます

変更を保存し、キオスク設定を作成するには、[適用] をクリックします。変更を有効にするには、ログオフする 必要があります。

WINSelect キオスクパネル

WINSelect キオスクがワークステーション上で有効にされたとき、選択したアプリケーションが WINSelect キオスク パネルに表示されます。デフォルトでは、このパネルは起動時に最小化されタスクバーとして表示されます。 WINSelectキオスクパネルを最大化するには、タスクバーをクリックします。

WINSelect Kiosk
EXCEL
OIS OIS
WINWORD

6

WINSelect ウィザードモードの使用

ウィンドウでは、ウィザード モードに入るオプションを利用できます。ウィザードは管理コンソール ログイン の圧縮バージョンで、ワークステーションをロックダウンするためのいくつかのオプションを提供します。

ウィザードの使用は、管理者がキオスクをすばやく作成したいときや、管理者が スタート メニュー、タスク マネージャ、Windows Explorer などの Windows 機能へのアクセスを制限したいときに最も効果的です。

ウィザードの最初の画面は次のように表示されます。

	의스
バージョン情報 WINSELECT	
製品: Faronics WINSelect Standard バージョン: 7.10.1111.543 評価版 認証: 30 勿々有効 最新パージョンがインストールされています。利用可能なアップデートはありません。	
プロダクトキー ウィザードモード	

キオスク モード画面が表示されます。このステップをスキップするには、/有効/ ボックスを空白のままにして [次へ]をクリックします。

😌 Faronics WINSelect Standard	<u>? ×</u>
「キオスクモード	1
□ 「 有効化	
	_
 目動加切し情知されビアンリケーションをNick Launcher/Pohthy する アブリケーションウインドウの現在のサイズと位置を子のまま保ちます。 	
戻る 次へ	終了

- 1. [有効]を選択し、キオスクを作成します。
- 2. [有効] が選択されている場合、[追加] を選択して、キオスク モードに追加できるすべての実行可能 ファイルをリストします。

[アプリケーション ウィンドウの現在のサイズと位置をそのまま保ちます] チェックボックスを選択 することによって、デスクトップビューをカスタマイズします。この機能は、選択したキオスク アプリケーションを即座に開きます。次に管理者はこのアプリケーションのサイズと位置を設定 できます。このサイズと位置は、後でユーザーが変更することはできません。

ウィンドウのサイズおよび位置は、有効にされた後は、WINSelect に戻らなければ変更できません。

3. [次へ]をクリックします。

[スタート ボタン] 画面が表示されます。

😽 Faronics WINSelect Standard	? ×
 スタートメニュー ○ 仄タート]ボタンを有効にする ○ すべての 仄タート]メニュー項目を無効にする ● 選択した 仄タート]メニュー項目を無効にする 	
□お気に入り □ゲーム (MS Vista) □ントロールパネル、ブリンタ、ネットワーク接続 マシャットダウン □タスク バーと [スタート]メニュー マドキュメント (クラシック メニューのみ) □ピッズわた ラびラン、の一覧	
 □ [スタート]メニュー項目の右クリックを無効にする □ クラシック スタイルの [スタート]メニューを有効にする 	

4. スタートメニューの設定に、利用可能な3つのオプションのいずれかを選択します。スタート メニューは、その中の各機能と共に表示できます。

ユーザーが [検索]、[実行]、[プログラムのアクセスと規定の設定] などの機能へのアクセスを許可されている場合、これらの機能をリストから選択できます。

スタート メニュー へのアクセスを完全に禁止するには、[スタート メニューを完全に無効にする] を 選択します。

5. スタート メニューの右クリック オプションを無効にする場合に選択します。それによってユーザーは Windows システムを探索および検索できなくなります。

[クラシック スタイルの スタート メニューを有効にする] を選択すると、Windows 2000のスタートメニューの外観と機能制限付きの動作をするクラシックスタイルのスタートメニューが有効になります。



キオスクモードが有効になっている場合、このノードへの変更はできません。

6. [次へ]をクリックします。

タスク マネージャ/Windows Explorer 画面が表示されます。これらのオプションは、管理コンソールのシステムノードにもあります。

line with the standard with th	? ×
タスク マネージャ 「 [タスク マネージャ] (Ctrl+Alt+Del) を無効にする	
Windows エクスプローラ	
□ 右クリックを無効にする	
フォルタ採作を無気にする ドラッグ& ドロップを無ながにする	
戻る 次へ	終了

7. タスクマネージャおよび Windows Explorer で無効にするオプションを選択します。

[タスク マネージャを無効にする (Ctrl+Alt+Delete)] ボックスを選択するとホットキー [Ctrl] + [Alt] + [Delete] が無効になり、それによってユーザーはタスク マネージャにアクセスしたり、コンピュータ を再起動したりすることができなくなります。

[右クリックを無効にする] ボックスを選択すると、ユーザーはワークステーションのディレクトリ を探索できなくなります。



キオスク モードが有効になっている場合、[タスク マネージャを無効にする] および [UNC パ スを無効にする] は利用できません。

8. [次へ]をクリックします。

[コントロール パネル] 画面が表示されます。これらのオプションは、管理コンソールのコントロール パネルノードにもあります。

Faronics WINSelect Standard		?
「コントロール パネルーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー		
○ アプレットを表示する		
○ すべてのアプレットを非表示にする		
◎ 選択したアプレットを非表示にする		
□Windows ファイアウォール		
□インターネット オプション		
□キーボード		
ロゲーム コントローラ		
■サウンドとオーディオ デバイス		
ロシステム		
□スキャナとカメラ		•
アプレットを指定		
	300 km	
	1	UD#
	戻る 次へ	終了

- 9. コントロール パネル の設定に、利用可能な 3つのオプションのいずれかを選択します。選択したア プレットのみを無効にする場合、リストから無効にするアプレットを選択します。
- 10. アプレットをリストに追加するには、[アプレットを指定] フィールドにアプレット名を入力し、[追加] をクリックします。

アプレットを削除するには、リストの中のそのアプレットを選択し、[削除]をクリックします。

11. [*完了*] をクリックします。次のダイアログが表示されます: 管理コンソール を起動するためには、 [*はい*]をクリックします。

ウィザードは一般的な設定オプションだけを提供します。その後で管理コンソールを起動して、 すべてのオプションを設定することができます。

WINSelect	×
WINSelect ウィザード モードを終了します。 WIN	Select を起動し、追加オプションを設定しますか?
	<u>していえ(N)</u>

ウィザードで設定されたすべてのオプションは管理コンソールに継承されますが、編集可能です。